

**GMO** CLOUD

証券コード 3788

2018年 12月期通期  
**決算説明資料**

# 免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

1. GMOクラウド会社概要
2. 2018年 12月期通期決算概要
3. 事業概況
  - クラウド・ホスティング事業
  - セキュリティ事業
  - ソリューション事業

# 1. GMOクラウド会社概要

# GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウド、ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証、企業向けID・パスワード管理サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエン ジン、車両遠隔診断）
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.3% * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2018年12月末現在）
従業員数	連結 916名（2018年12月末現在）

## GMOクラウドの事業領域

### ● インターネットの安全を支える

クラウド・ホスティング事業

- 安全なクラウド基盤の提供

セキュリティ事業

- 電子認証により、通信（取引）を守る
- ID管理により、利用者の入り口を守る

### ● 企業のクラウド利用を支える・便利にする

ソリューション事業

- 「IoT関連」「O2Oアプリ」「電子契約」  
「ネットワークエンジン」「車両遠隔診断」

# 次の成長に向けた取り組み

市場環境の変化

IoT・AIによる技術革新やドキュメントのデジタル化が急速に進展

## IoTサービスインフラ・IoTセキュリティ分野でNo.1へ

### IoTサービスインフラ

- IoT・AIプラットフォーム
- コネクテッドカーサービス
- O2Oサービス

### IoTセキュリティ

- 証明書高速大量発行サービス
- タイムスタンプ
- 電子契約・IDマネジメントサービス

集中投資

**Mission（使命）：コトをITで変えていく。**

クラウド・ホスティング

データの蓄積・管理

セキュリティ

認証局運営  
ID管理

ソリューション

ソフトウェア・アプリ開発  
インターフェイス設計

## 2. 2018年12月期 通期決算概要



# セグメント別トピックス ハイライト

## クラウド・ホスティング事業

- 既存サービスの統廃合を継続し利益構造改善
- 「GMOクラウドALTUS」において、情報セキュリティの国際規格「ISO/IEC27017」の認証を取得

## セキュリティ事業

- 常時SSL化の影響もあり売上増加
- 企業向けシングルサインオンサービス「SKUID byGMO」  
「Active Directory 連携機能」を提供開始

## ソリューション事業

- O2Oアプリ、自動車業界特化型のアプリ制作サービス  
「gNOTE+」提供開始
- クルモ事業（中古車流通）の譲渡を決定

# 2018年12月期 通期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2017年Q4実績	2018年Q4実績	前年同期比
売上高	12,206	<b>12,738</b>	+ 4.4%
営業利益	1,061	<b>1,408</b>	+ 32.7%
親会社帰属利益	635	<b>956</b>	+ 50.5%
EBITDA※	1,195	<b>1,538</b>	+28.7%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費償却費 + のれん償却費

## 押し上げ要因

- セキュリティ事業が連結業績を牽引し、増収増益を達成
- クラウド・ホスティング事業の効率化に伴い費用削減進展

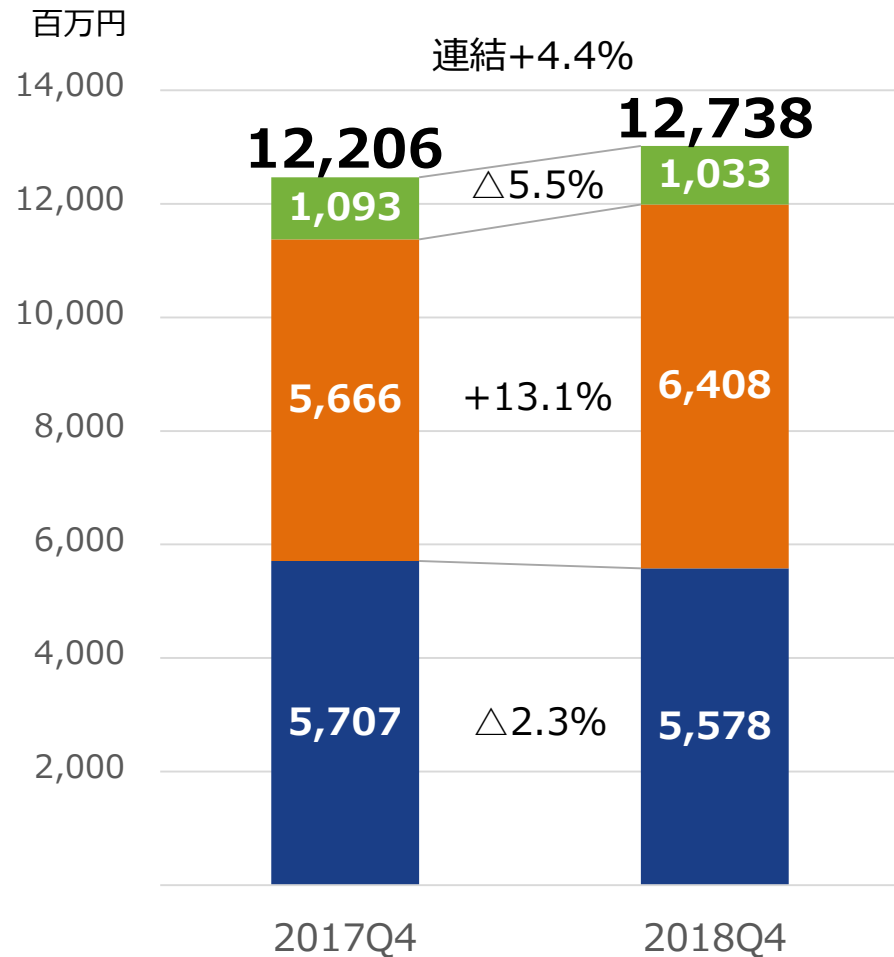
## 押し下げ要因

- セキュリティ事業拡大に伴なう人員増加による人件費の増加
- IoT、ソリューション事業の新規事業関連費（研究開発費/ソフトウェア費用および人件費）の増加

# 2018年12月期 通期連結決算概要[累計比較]

## — セグメント別売上高 (セグメント間取引控除前) —

■ クラウド・ホスティング   ■ セキュリティ   ■ ソリューション



### クラウド・ホスティング事業

- クラウド売上は増加、一方、共用・専用サーバーは売上減少傾向続く

### セキュリティ事業

- 「常時SSL化」および「EU一般データ保護規則」対応によるSSL証明書の需要増加
- エンタープライズ向け売上好調推移
- アジア・新興市場を含む海外を中心として売上好調推移

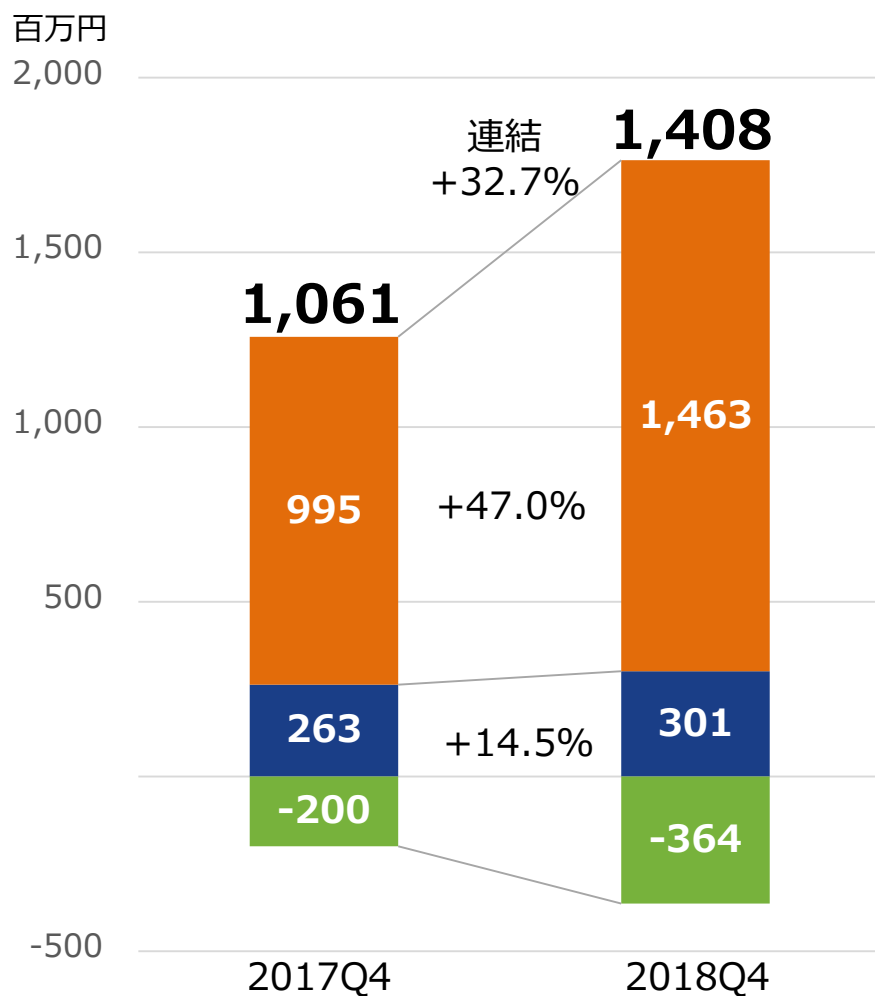
### ソリューション事業

- スピード翻訳事業売却(2017年12月)による売上減少
- O2OおよびPhotonが売上貢献

# 2018年12月期 通期連結決算概要[累計比較]

## セグメント別営業利益 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



### クラウド・ホスティング事業

- サービス統廃合等によるコスト削減で利益率増加

### セキュリティ事業

- 増収増益により、新規投資と人員増加に伴う人件費を吸収

### ソリューション事業

- 次の成長に向けたIoT関連事業への投資により損失増加

## 2018年 通期連結決算概要[予想比較]

- セキュリティ事業は大手顧客を中心に国内外で増収増益
- 「常時SSL化」への対応等により国内中心に一時大きく伸長

単位： 百万円	2017年 通期実績	2018年 (修正前予想)	2018年 (修正後予想)※	2018年 通期実績	前年同期比
売上高	12,206	12,825	12,825	12,738	+ 4.4%
営業利益	1,061	1,167	1,387	1,408	+ 32.7%
経常利益	1,087	1,167	1,469	1,490	+ 37.1%
親会社 帰属利益	635	700	919	956	+ 50.5%

※2019年1月21日に通期業績予想を修正発表いたしました

## 2018年 四半期別連結決算概要[四半期比較]

- 増収であったものの、売上原価および営業費の増加により減益
- 固定資産の減損により、親会社帰属利益は減少

単位： 百万円	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	2018年 4Q	3Q比
<b>売上高</b>	3,172	3,106	3,133	3,213	3,284	+ 2.2%
<b>営業利益</b>	336	360	340	375	331	△11.7%
<b>経常利益</b>	332	352	385	427	325	△23.9%
<b>親会社 帰属利益</b>	89	231	293	301	130	△56.9%

## 2018年 通期セグメント情報 [四半期比較]

- クラウド・ホスティング事業は既存サービスで売上減少もコスト削減効果で増益
- ソリューション事業はIoTはじめ事業への投資継続で人件費増加

売上高				営業利益			
セグメント	2017年 4Q	2018 4Q	前年 同期比	セグメント	2017年 4Q	2018年 4Q	前年 同期比
クラウド・ホスティング	1,432	1,382	△ 3.5%	クラウド・ホスティング	66	74	+11.6%
セキュリティ	1,538	1,667	+ 8.4%	セキュリティ	316	338	+ 6.9%
ソリューション	270	293	+ 8.8%	ソリューション	△48	△88	-
消去又は 全社	△69	△59	-	消去又は 全社	0	7	-
連結計	3,172	3,284	+ 3.5%	連結計	336	331	△ 1.3%

# 連結貸借対照表

単位：百万円	2017年12月末	2018年12月末	増減率
流動資産	5,544	6,579	+18.7%
(現金預金)	3,695	4,356	+17.9%
(売掛金)	1,350	1,439	+6.6%
固定資産	3,074	2,543	△17.3%
(ソフトウェア)	671	677	+0.8%
(のれん)	-	-	-
(投資有価証券)	379	504	+32.8%
(関係会社株式)	57	57	-
資産合計	8,619	9,123	+5.8%
負債	3,362	3,304	△1.7%
(前受金)	1,554	1,528	△1.7%
(借入＋リース債務)	514	385	△25.0%
純資産	5,256	5,819	+10.7%
(株主資本)	4,957	5,596	+12.9%
(その他包括利益累計)	261	195	△25.5%
(非支配株主持分)	36	27	△24.9%
負債・純資産合計	8,619	9,123	+5.8%

## 主な資産増減要因

- 現金預金  
+660百万円
- 投資有価証券  
+124百万円

## 主な負債増減要因

- 買掛金  
+52百万円
- 前受金  
△26百万円
- 賞与引当金  
+84百万円
- リース債務  
△128百万円

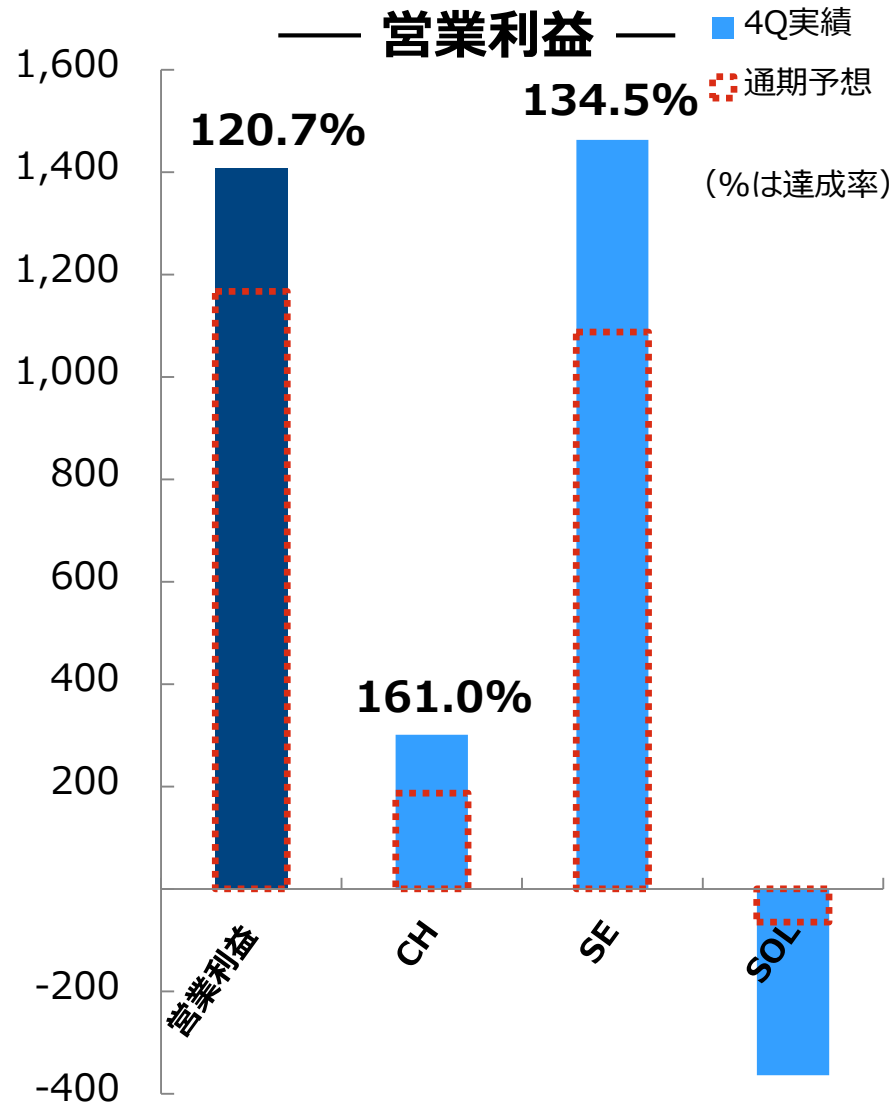
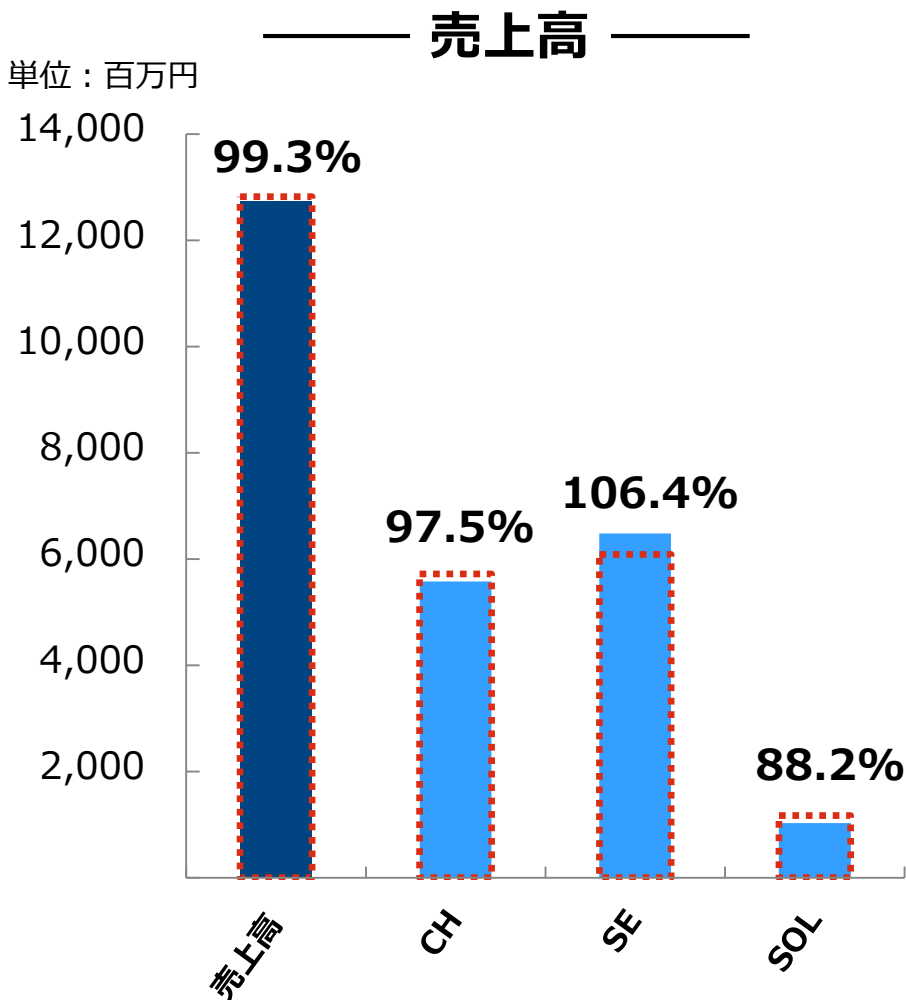


# キャッシュ・フロー概要

単位：百万円	2017年 4Q	2018年 4Q	主な要因
営業キャッシュ・フロー	1,557	<b>1,878</b>	税前利益 +1,134百万円 減価償却費 +720百万円 投資事業組合運用益 △69百万円 法人税等支払 △326百万円
投資キャッシュ・フロー	△670	<b>△361</b>	固定資産の取得 △554百万円 長期貸付金回収 +159百万円
財務キャッシュ・フロー	△472	<b>△547</b>	配当金支払 △317百万円 ファイナンス・リース債務 返済支出 △216百万円
現金同等物の増減額	+ 475	<b>+860</b>	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,635	<b>4,496</b>	

# 2018年 業績予実（修正前）比較

単位：百万円



CH:クラウド・ホスティング事業 SE:セキュリティ事業 SOL:ソリューション事業

## 2019年12月期通期業績予想

- IoT事業への新規事業投資の継続により費用増加を見込むが、セキュリティ事業続伸により増収増益を計画

単位:百万円	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (予想)	2018年比
売上高	12,738	14,015	+10.0%
営業利益	1,408	1,550	+10.0%
経常利益	1,490	1,550	+ 4.0%
親会社帰属利益	956	1,010	+ 5.6%
1株当たり 純利益(円)	83.04	87.68	-

## 2019年 通期業績予想〔セグメント別〕

- セキュリティ事業は大手顧客を中心に国内外で増収増益計画
- 引き続き、IoTインフラおよびIoTセキュリティ分野へ投資継続

### 売上高

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	5,578	<b>5,580</b>	0.0%
セキュリティ	6,408	<b>7,332</b>	+14.4%
ソリューション	1,033	<b>1,303</b>	+26.1%
消去又は 全社	△281	△ <b>200</b>	—
連結計	12,738	<b>14,015</b>	+10.0%

### 営業利益

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	301	<b>302</b>	0.3%
セキュリティ	1,463	<b>1,576</b>	+7.7%
ソリューション	△364	△ <b>328</b>	—
調整	+ 7	<b>0</b>	—
連結計	1,408	<b>1,550</b>	10.0%

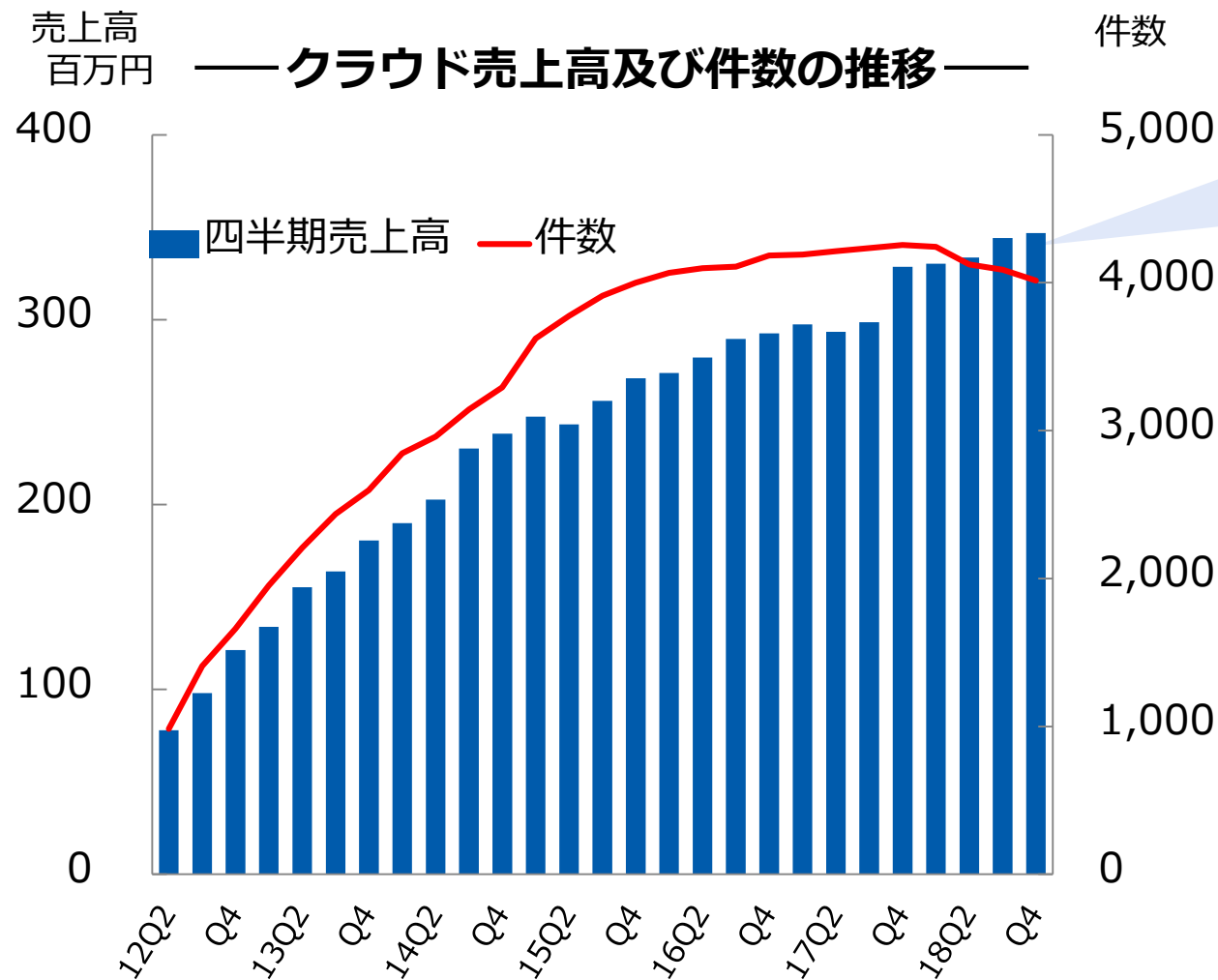
### 3. 事業概況

クラウド・ホスティング事業

安全なクラウド基盤の提供

# クラウドサービス売上高と件数推移

## 高単価プライベートクラウド売上増加

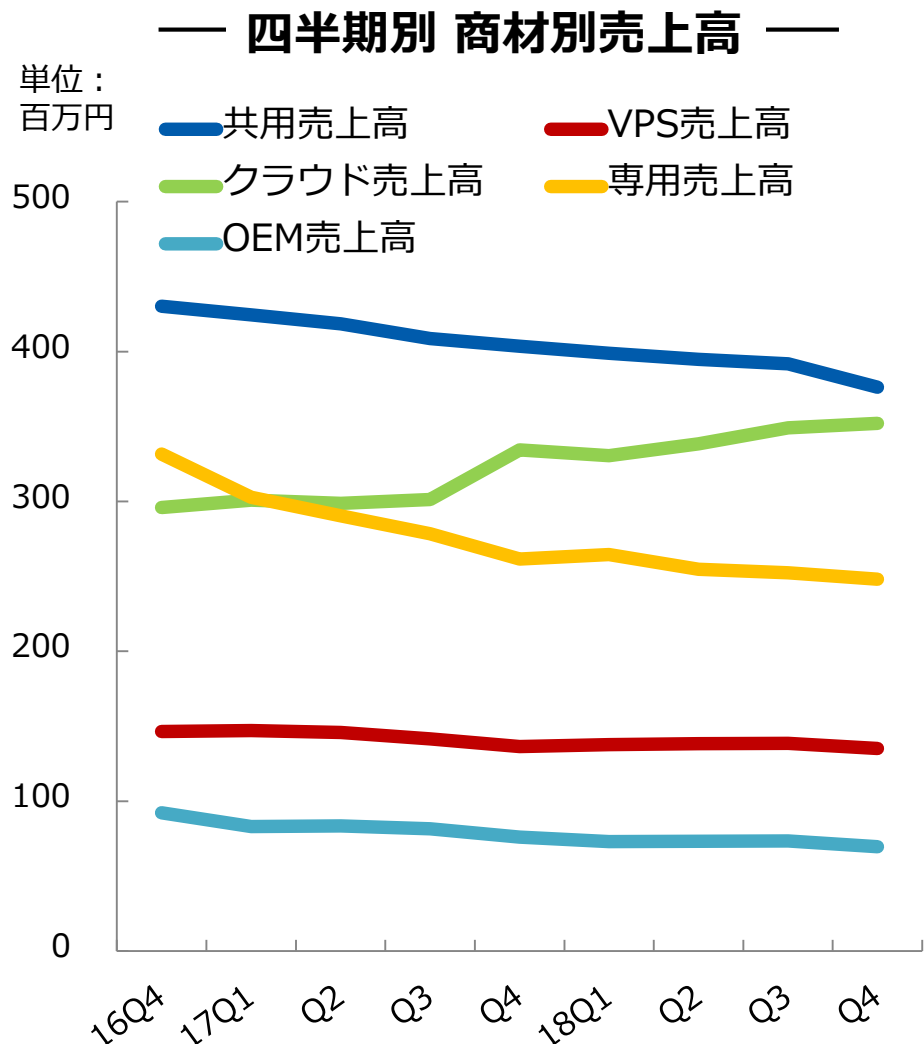
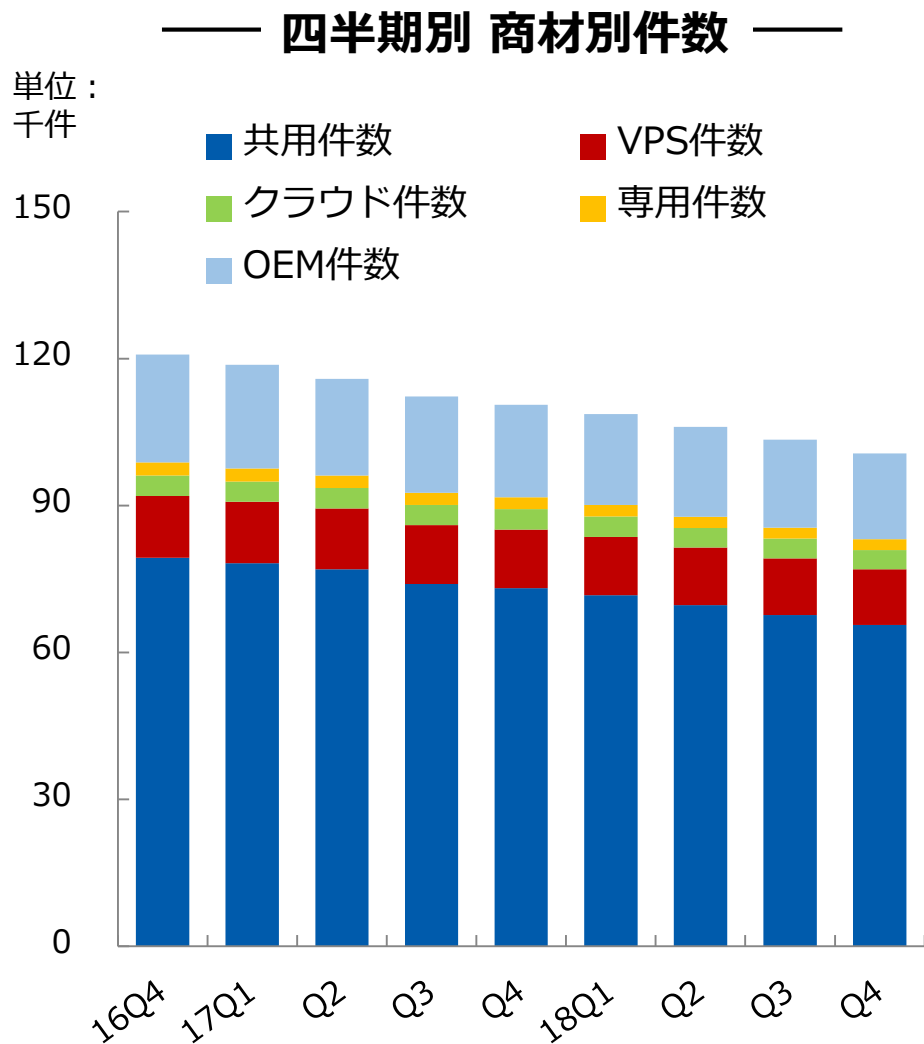


件数の減少は、ALTUSオブジェクトストレージサービスの提供を本年4月に終了した影響による

2018年第4四半期  
**売上高 : 346百万円**  
**前年同期比: +5.5%**

# クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

提供サービスの統廃合継続。件数は減少したものの収益改善



### 3. 事業概況

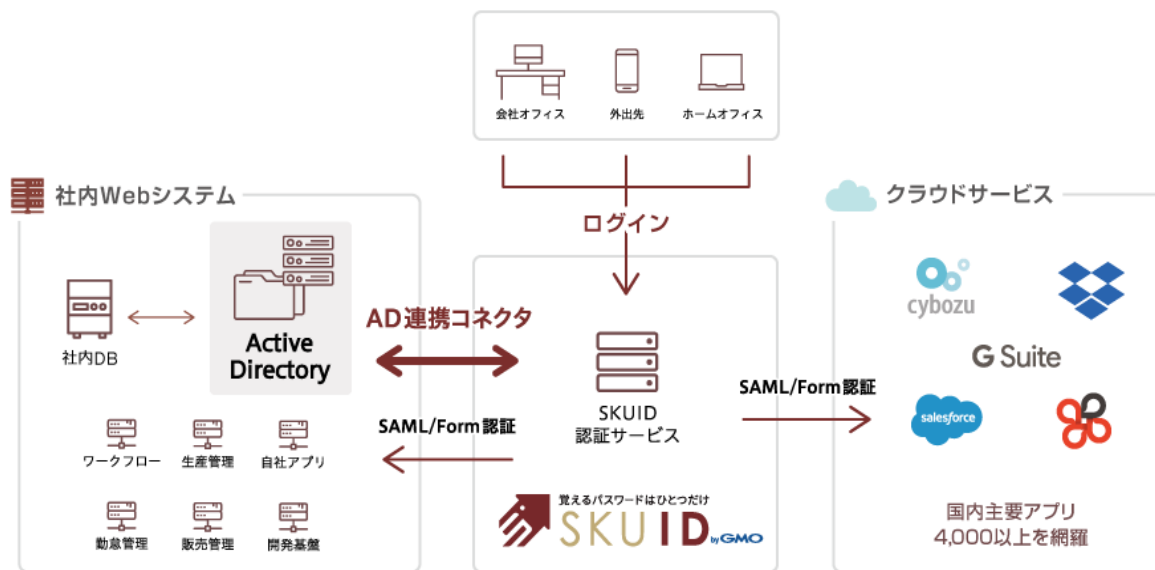
セキュリティ事業

電子認証により、通信（取引）を守る



# 「SKUID byGMO」 連携機能を強化

Microsoft社「Active Directory(AD)」※との連携機能を追加。  
AD導入企業でシングルサインオン環境を構築可能に。



※「Active Directory(AD)」とは  
Microsoft社が開発した機能の一つ。社内システムにおいて、様々なシステムのIDや権限を集約・管理できる仕組み。  
社内システムのみならず、AD対応サービスのシングルサインオンが可能となることから多くの企業に導入されています。

「SKUID byGMO」は名称を **トラスト・ログイン** byGMO に変更します

新しいサービス名称「トラスト・ログイン byGMO」には、これまでGMOグローバルサインが培ってきた認証局としてのセキュリティの強みを生かし、"お客様が信頼 (trust) して利用できるシングルサインオンサービスになりたい"という思いを込めています。

# タイムスタンプ・eIDAS認定で電子書類の改ざん防止を強化

- **eIDAS認定**※1を日本本社の認証局として初めて取得
- Adobe社の設立した電子署名※2の**国際団体に加盟**
- 10カ国10拠点でのサポート体制

展開する  
改ざん防止サービス

- 海外での信用担保においても利用可能な**タイムスタンプサービス**※3
- 「いつ」「だれが」作成したかを証明 → **改ざんを防止**

今後の公的認証制度を鑑み、**eIDASに準拠した証明書サービス**をリリース  
当社電子契約サービス「Agree」との**連携強化**で使いやすく

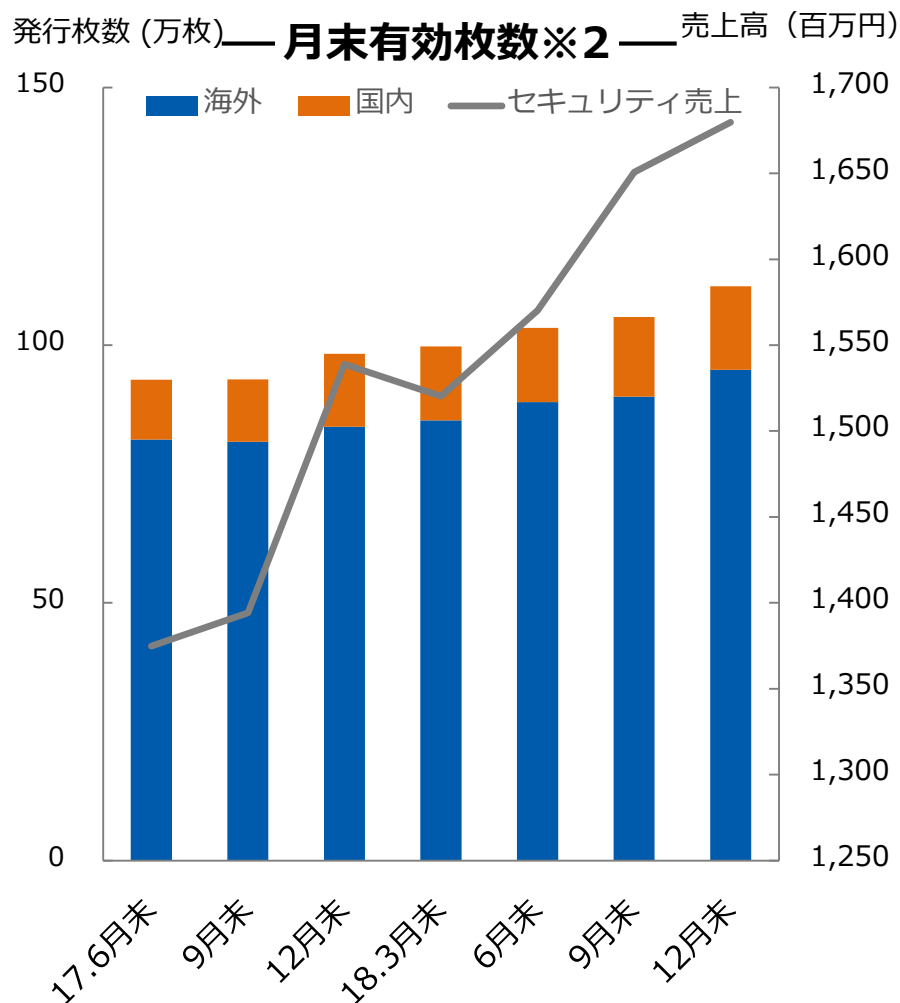
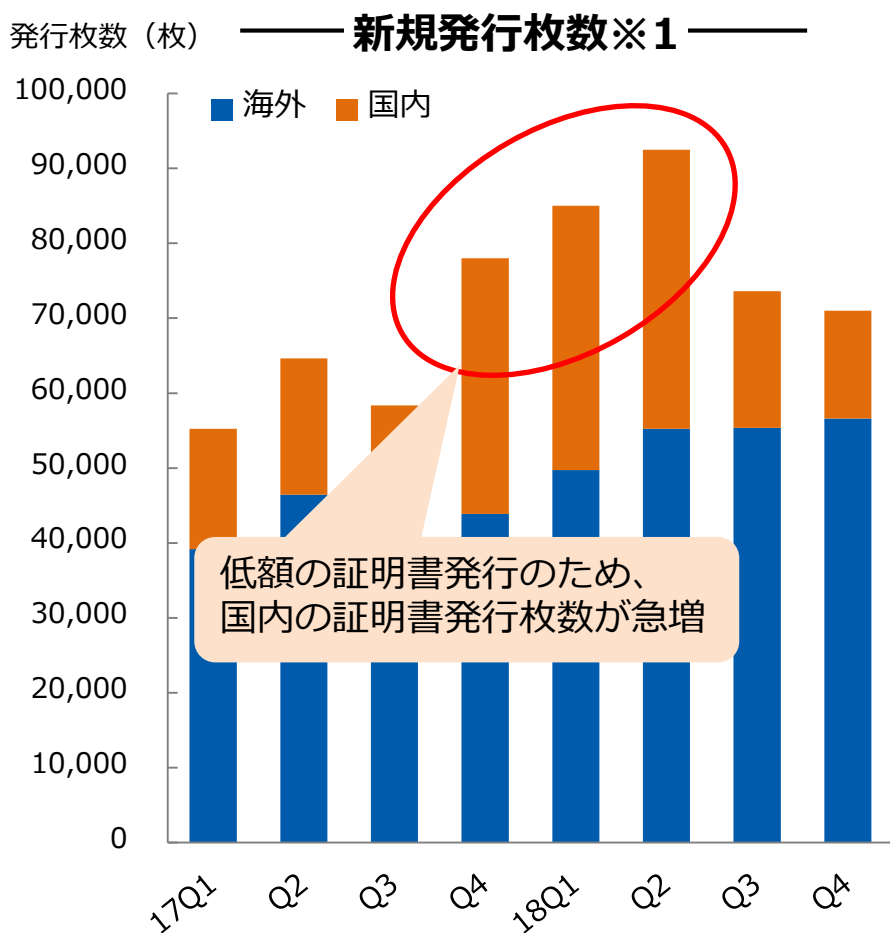
※1 eIDASとは、EU加盟国に適用される電子IDや電子認証、電子署名等の基準を定めた法的規則

※2 電子署名とは、信頼された認証局により発行された電子証明書を利用して署名者の本人認証を行うもの

※3 タイムスタンプとは、文書や画像などの電子データにおいて、記録されている作成・更新日時といった確定日付に関する情報に改ざんがないことを証明する電子証明書のこと

# SSL証明書発行枚数

国内の低額証明書発行が一巡したが、売上は海外を中心に好調推移



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

### 3. 事業概況

ソリューション事業

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

## IoTの窓口 byGMO トピックス

来店客の属性・行動分析ができる実店舗向けAI分析サービス  
「Diversity Insight for Retail byGMO」が  
クックパッド社と共同で行動分析に導入



▲クックパッドマート受け取り用の専用冷蔵庫前の行動をカメラで検知

レシピサイトを運営するクックパッド社と共同で、同社ネットスーパーの受け取り用冷蔵庫に、「Diversity Insight for Retail」を導入。



▲分析結果をリアルタイムに見える化

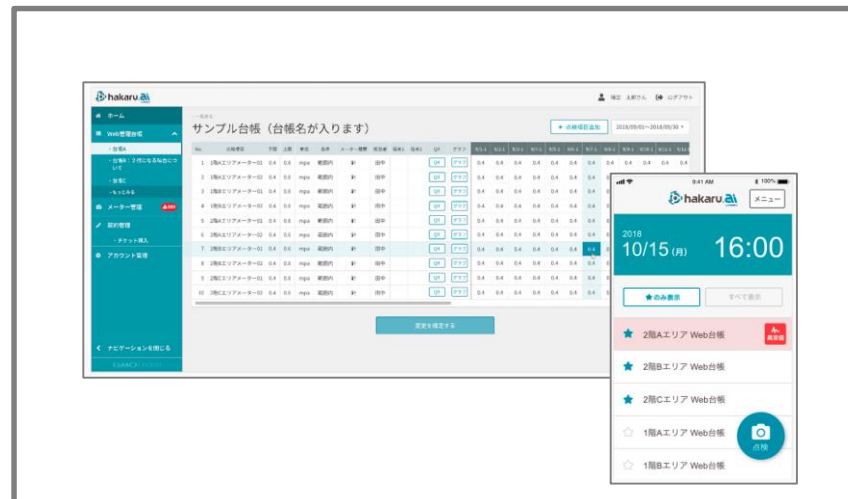
【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190123\\_2950.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190123_2950.html)

## IoTの窓口 byGMO トピックス

スマホで撮影するだけ。AIがメーターを読み取り・集計する

ハカル エーアイ

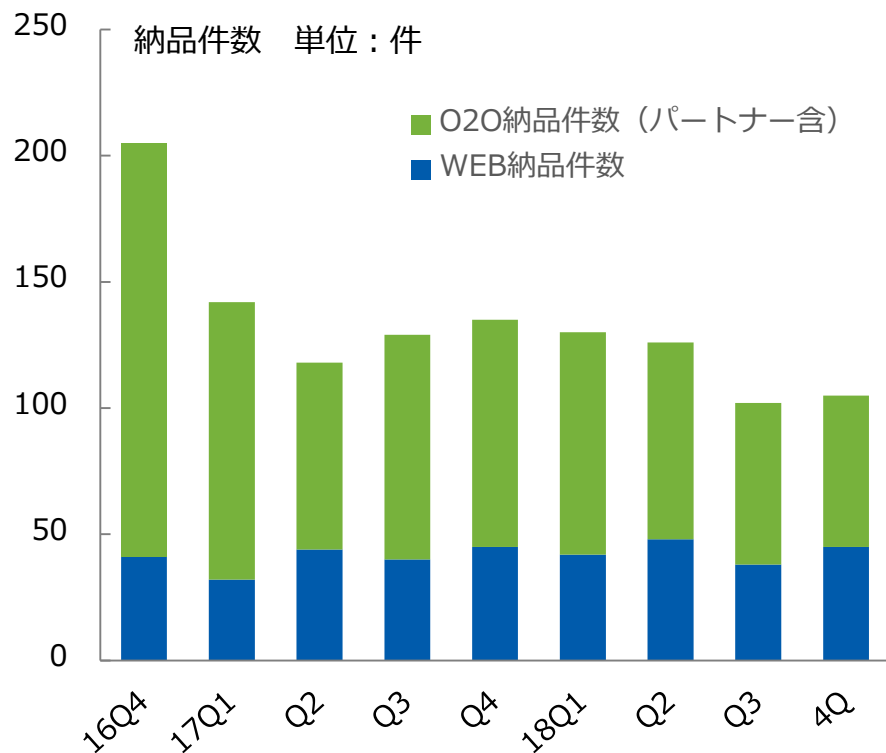
「hakaru.ai byGMO」製品版を1月24日より提供開始



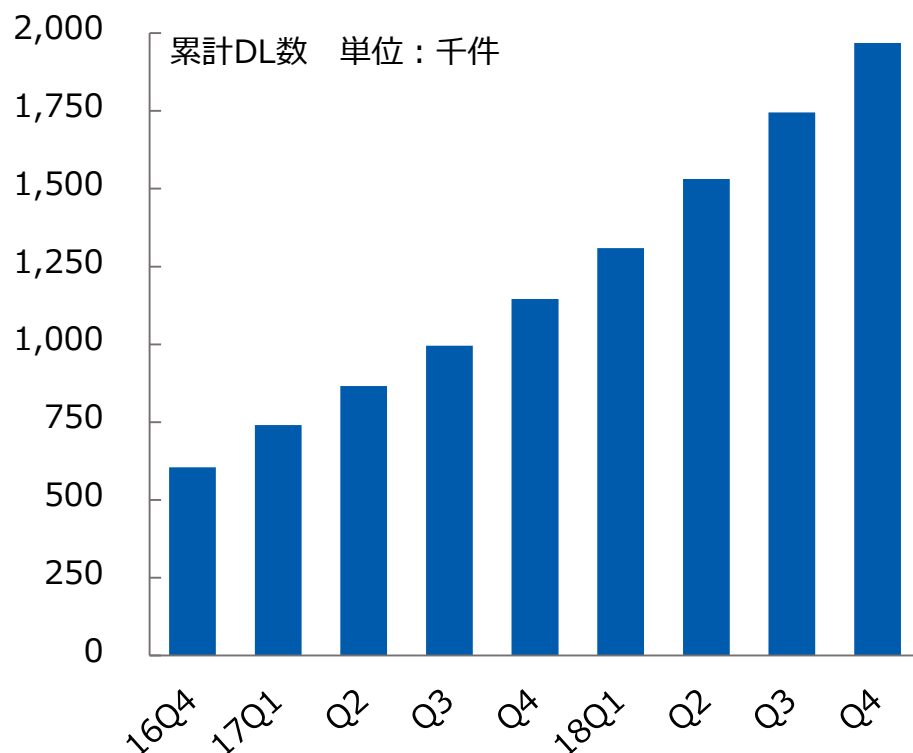
【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190124\\_2951.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190124_2951.html)

- 11月、12月に大型案件の受注コスト圧縮の効果により利益拡大
- 自動車業界特化型のアプリ制作サービス「gNOTE+」提供開始

### — 納品件数の推移 —



### — ダウンロード数の推移 —

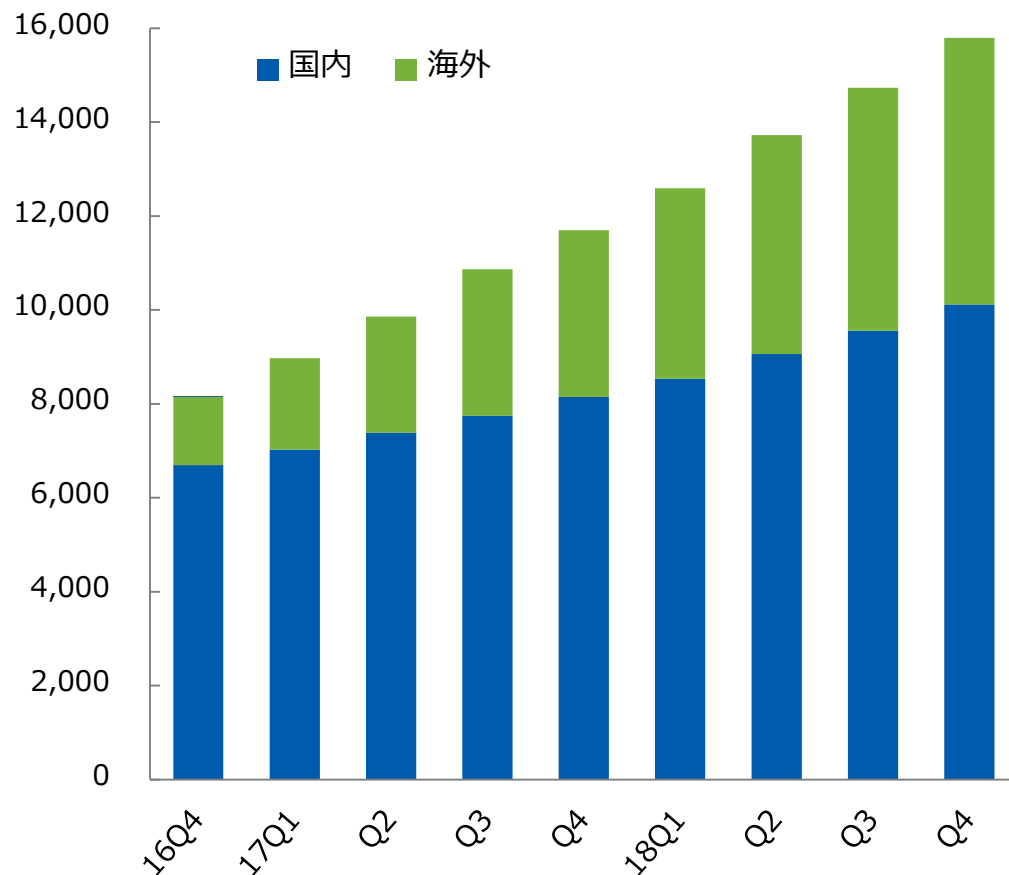


※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/cmt/181203\\_2935.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/cmt/181203_2935.html)

## 大手ゲーム開発会社から大型案件受注し業績も好調推移

累計数(人) — アカウント数推移 —



—— トピックス ——

各種展示会への参加やイベント登壇を通して商材を紹介



【詳細URL】 <https://www.photonengine.com/ja-JP/Photon>





GMOクラウドグループは  
One GMO CLOUD へ

## 当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 中、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : [ir@gmocloud.com](mailto:ir@gmocloud.com) または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。